

Cisco Video Surveillance Manager サーバの ActiveX で問題を解決するために DebugView 出力を集めて下さい

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[望ましいログファイルを集める DebugView の使用](#)

[ステップ 1.ブラウザ、ビデオアプリケーションおよび他の主要なアプリケーションのすべての例を閉じて下さい](#)

[ステップ 2.デバッグツールを起動させて下さい](#)

[ステップ 3.見られる問題を再生して下さい](#)

[ステップ 4.出力を保存して下さい](#)

[関連情報](#)

概要

この資料に Cisco Video Surveillance Manager サーバの ActiveX クライアントによって基づく問題を解決するのに DebugView ユーティリティを使用する方法を記述されています。

前提条件

要件

Cisco はシステムでダウンロードされる DebugView アプリケーションがあることを推奨します。

注: 参照ダウンロード リンクはこの資料の下部ので利用できます。

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は Cisco ビデオ サーベイランス Media Server 6.x/7.x に基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

望ましいログファイルを集める DebugView の使用

DebugView 出力は ActiveX クライアントのためのログファイルとして検討することができます。

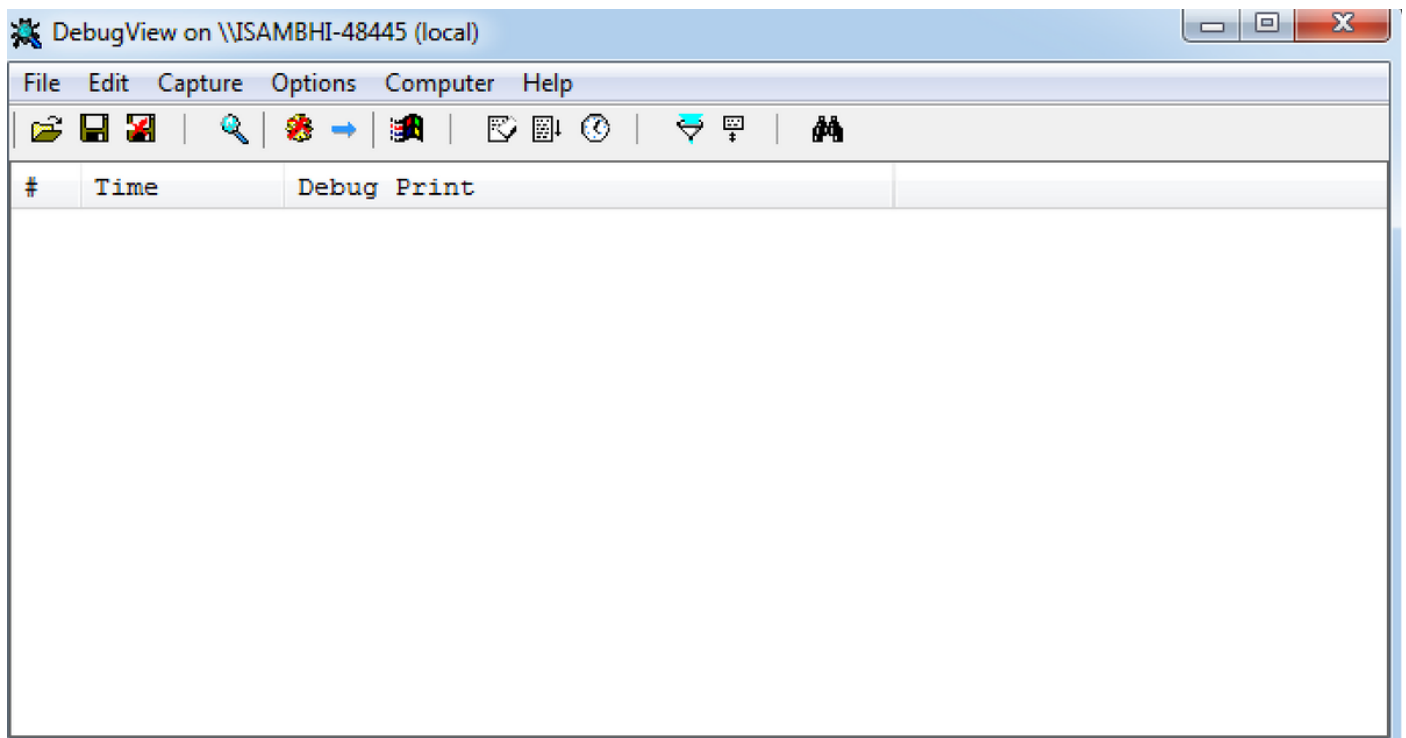
この資料はこの 4 つのステップでツールを使用するためにプロセスを説明したものです:

ステップ 1. ブラウザ、ビデオアプリケーションおよび他の主要なアプリケーションのすべての例を閉じて下さい

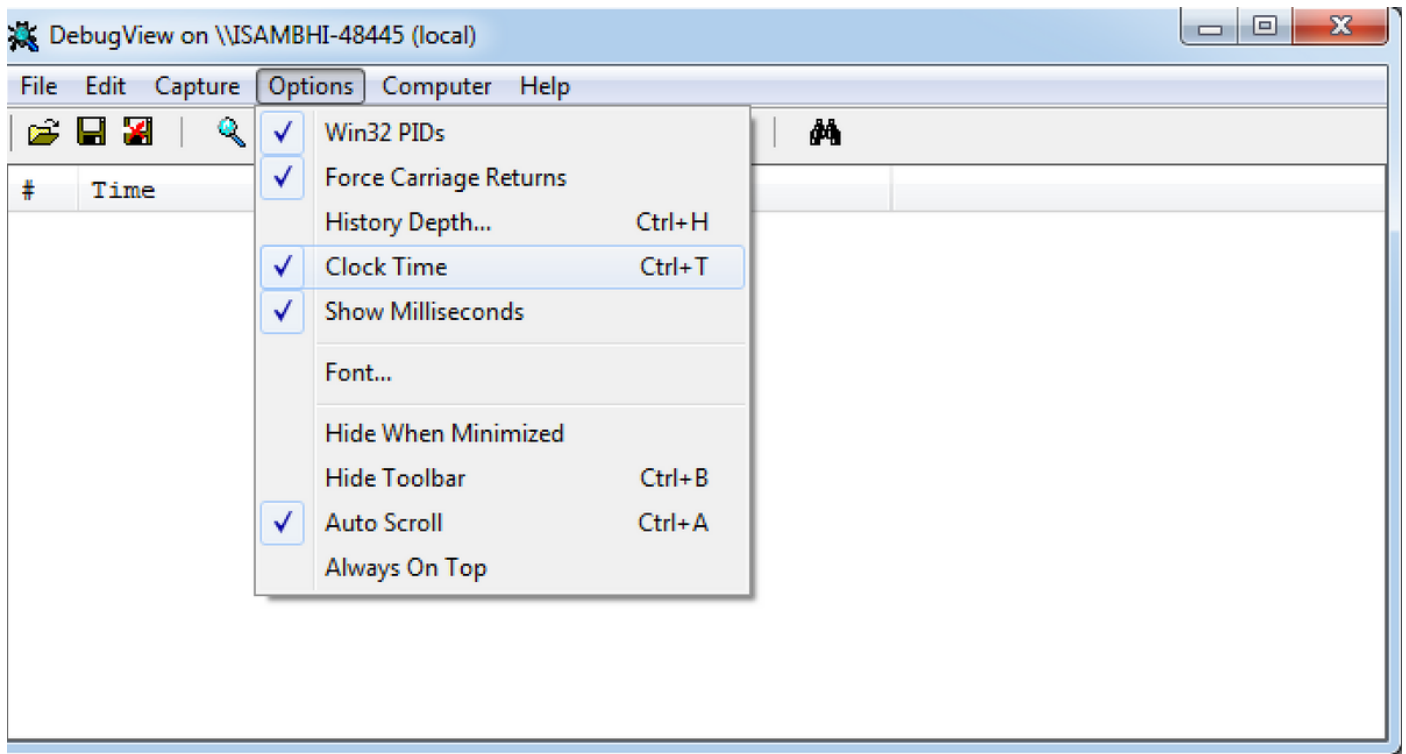
開いた余分アプリケーションがある場合それは余分望ましくないログ 出力を生成します、それ故にツールを実行する前にすべての不必要なアプリケーションを閉じてもらうことを推奨します。

ステップ 2. デバッグツールを起動させて下さい

DebugView アプリケーションを解凍し、起動させて下さい。

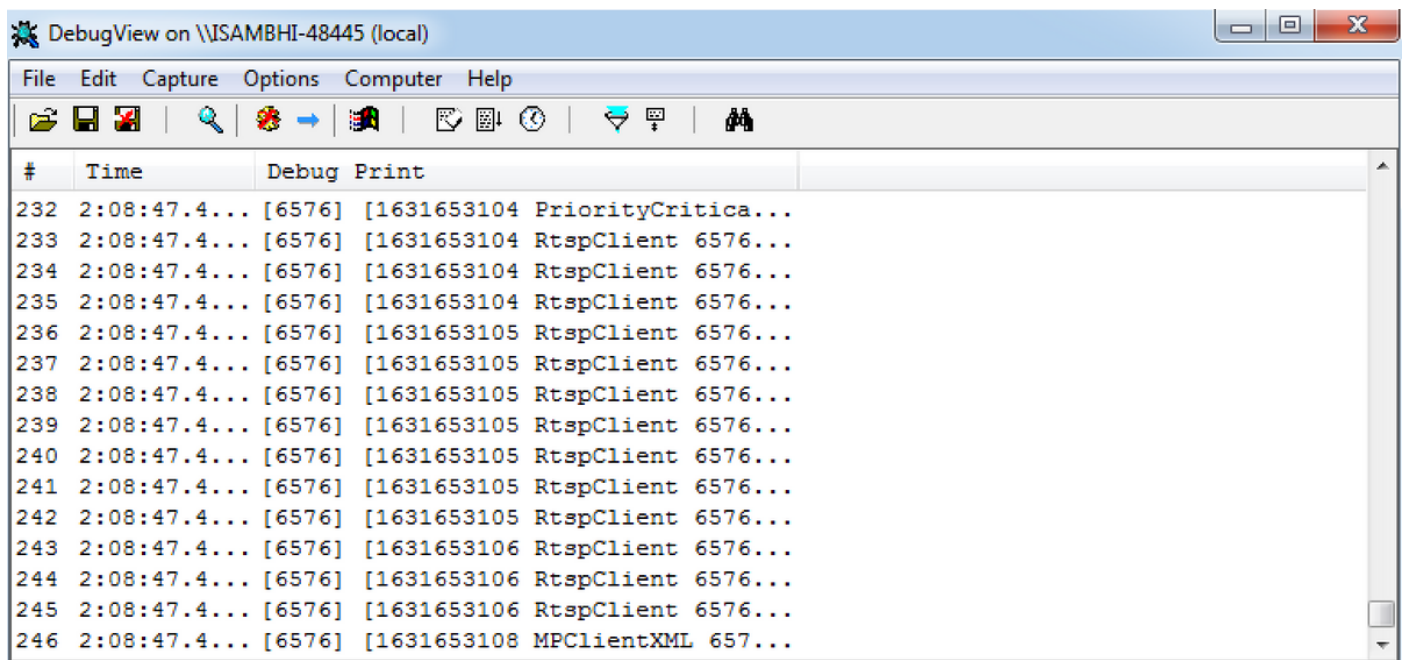


時刻を有効にし、ミリ秒を示すオプションを『Options』をクリックし、探して下さい。



ステップ 3.見られる問題を再生して下さい

問題を再生する場合、DebugView アプリケーションの出力が表示されます。デバッグツールは多くのレコードを記録します。



ステップ 4.出力を保存して下さい

ように File > Save の順にクリックし、望ましい位置で出力を保存して下さい。

